

「小町・良寛」は革命だった。  
革命は続いていた。

1987年に仮名書体「小町・良寛」は発表された。  
その時始まった日本語書の改革が集大成された。  
やがて、この本は新しい日本語組版のバイブルになる。

この本は、  
専門家だけでなく、  
日々文字に触れる  
日本中の人に  
読んでもらいたい。

この本は、日本語の必然から、  
考え出された、日本人のための  
フォント作りの記録。  
それは、日本人の美意識と歴史に感謝し、  
日本人としての誇りを取り戻すための  
たった二人の思索の記録でもある。

# 味岡伸太郎 書体講座

味岡伸太郎著

定価 1,800円+税



夏  
利  
叢  
書

2018年1月31日発売  
並製 128×186mm 288頁  
春夏秋冬叢書  
441-8011 愛知県豊橋市菰口町1-43  
Tel:0532-33-0086 Fax:0532-32-7134  
E-mail:sou@h-n-a-f.com http://www.h-n-a-f.com

日本の文字について、  
ここまでは誰も言わなかった。  
新しい見出し明朝体「味明」が出来るまで、そして  
味岡伸太郎のタイプフェイス&タイポグラフィ、ロゴタイプ

味岡さんは今、明朝体の漢字を作っています。  
ウエイトは金属活字の初号くらいヘビーなのに、  
やばくなく美しくチャーミング。  
嬉しいのはヘアラインのモダンスタイルもできたこと。  
さらに今回、10種の仮名書体が加わってて驚愕です。  
かなも漢字も充実して大変なここになってきました。  
味岡さんの書体シリーズはどこまでいくのかしら……。

日本語書体があまり  
り経験したことが  
なかった盛り上がり  
で日本中に味岡フォ  
ントが溢れ、文字も  
元気になりました。  
ぼくも仕事でたくさ  
んお世話になりました。

明朝体というのはいもとも  
と漢字だけだったんで  
すね。仮名書体はそも  
そも漢字を崩した草書  
体っぽい書体で、日本  
語は二種類の書体を  
組み合わせてできてい  
たんだってことに、気付  
きましたよ。日本語の  
印刷用書体の大革命  
だったんです！  
祖父江慎

味岡伸太郎 書体講座 出版記念

## 味明物語大阪展

3月26日(月)～4月5日(木)

ペーパーボイス大阪

土日休館 9:00～17:00 (最終日は16:00)

●ギャラリートーク 4F 3月26日 14:00～17:00

白井敬尚×祖父江慎×味岡伸太郎×櫻井拓(司会)

オープニングパーティ 1F 3月26日 17:30～19:30

ペーパーボイス大阪

大阪市中央区南船場2-3-23 TEL:06-6262-0902

## 味明物語東京展

4月17日(火)～26日(木)

ペーパーボイス東京

土日休館 9:00～17:00 (最終日は16:00)

●ギャラリートーク 4F 4月17日 14:00～17:00

白井敬尚×祖父江慎×味岡伸太郎×櫻井拓(司会)

オープニングパーティ 1F 4月17日 17:30～

ペーパーボイス東京

東京都中央区新川1-22-11 TEL:03-3206-8541

協力:平和紙業株式会社

ペーパーボイス

<http://www.heiwapaper.co.jp/shop/gallery.html>